

クラブ通信 Vol. 200

2025年1月



ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

<https://osaka.seikatsuclub.coop/>

TEL. 072-641-5547



発行/生活クラブ生協大阪理事会 編集/広報委員会 茨木市清水1丁目21番4号

11月度実績報告(10/21~11/20)

◎組合員数	20,207人 (11/20現在)
加入	272人
脱退	153人
◎供給高	340,346千円 (計画比 99.6%)
	(前年比 116.6%)
一人当たり利用高	16,909円 (前年比 115.7%)

44th 生活クラブ 生協フェスタ

つながる まいにち
ずっとハッピー♡



11月17日(日)に花博記念公園鶴見緑地ハナミズキホールで生活クラブ生協フェスタを開催しました!

私たちの活動を組合員、生産者、連携団体と共に地域に発信し、生活クラブ運動を広げるため、生活クラブ生協フェスタを開催しました。

こだわりの消費材を使った飲食ブース、防災や暮らしに関するブース、組合員が手作りで用意した子どもが楽しめるコーナーなどで、多くの組合員や、地域の人たちとつながることができました。当日6名の生協加入もありました。



【出展ブースの数】参加生産者:44 地域団体その他:4
ブロック・委員会など組合員ブース:20 職員:2
【カンパにご協力いただいた生産者・団体】 51団体



「詰め放題」には長蛇の列



エキゾチックなインド舞踊を堪能

今年のフェスタは久しぶりに11月の良い季節に行うことができました。直前まで雨の予報でハラハラしましたが、実行委員長清水理事長と、副委員長ワタクシ池辺の晴れ女パワーで、無事太陽を呼び寄せることができました(笑)! とはいえ11月とは思えないほど気温が高く、朝から組合員ブースで販売していたアイスクリームを食べている人を何人か見かけました。おかげで熱々の消費材を用意したブースは少々苦戦したようですね。もうフェスタは冬に行く時が来るかも? なんて思いもよぎりました。

それはともかく。来場者は昨年よりかなり多かったようで、屋内の生産者ブースでも売り切れ続出となり、大盛況でした。昨年に引き続き行ったシールラリーも300枚の台紙がほぼなくなり、大勢が参加してくれたようです。当選者の方々、おめでとうございます。景品を提供して下さった生産者のみなさん、ありがとうございました!

また、今年はステージでの音楽やダンスが復活、出演者のみなさんのレベルの高さに大勢の来場者が足を止め、拍手が巻き起こっていましたね。音響が今一つだったり、用意に何かと不備があったり、反省点も色々ありますが、何はともあれ事故もなく無事終了できました。生産者、ブロック、委員会のみなさん、お手伝い、そして実行委員のみなさん、本当にお疲れさまでした! 来場の組合員のみなさんもありありがとうございました。来年もまた一緒に楽しみましょう!



印はいかがですか?

2.3面に続く

(フェスタ実行委員会 池辺尚代)

今月の紙面

- 第44回生活クラブ生協フェスタ開催... 2 3
- クラブ通信と共に振り返る歴史... 4 5
- 産直春のつどい
私のおすすめ3品... 6
- わたしたちの豆腐「やっぱり豆伍心」
2025お年玉プレゼントクイズ... 7
- 200号によせて 大つぶやき
エコロ共済「産直春のつどい」お知らせ
理事会報告... 8

従来の「キッズランド」に加えて、今年は屋外に「子どもひろば」が設けられました。どちらも手作りのおもちゃに子どもたちが大集合。ストラックアウトやボーリング、玉入れ、けん玉などを楽しんでいました。親子で取り組む工作コーナー、しゃぼん玉&泡遊びコーナーにもぎわっていましたよ。



←子どもひろば

↑キッズランド

キッズランド 子どもひろば

あわあわ～
泡遊び、楽しい!

しゃぼん玉&泡遊び。せっけんの魅力、伝わったかな?



毎年大人気の工作コーナー。子ども以上に保護者が夢中になることも!

ステージ

午前中はステージ発表、午後はお買い物シールラリーの抽選会が行われました。今年のステージは顔ぶれが幅広く、演目もさまざまだったので、とても盛り上がりました。



バルーンアート



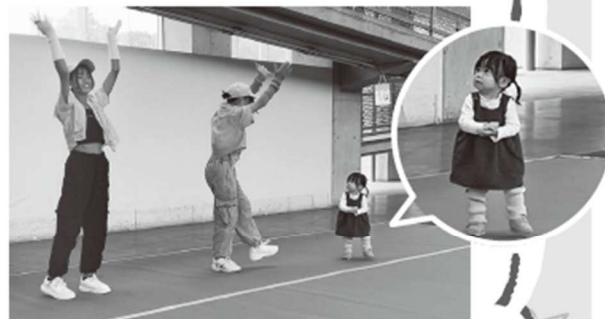
鍵盤ハーモニカの演奏



ウクレレ



生活クラブでんきの漫才



かっこいいダンスも! 小さな飛び入りちゃんに会場はほっこり



フラダンスでゆったりした気分

お買い物シールラリー 抽選会



参加多数で大盛況でした。来年もお楽しみに。



ベテラン組合員 I さんの フェスタで買ったもの♪



にら、青ネギ、ミニ食パン、グアテマラコーヒー、チョコラデパアピター(タブレット)、パレスチナオリブオイル、せっけん、マスク

コバド糖かりんとう、ジンジャエールの素、シフォンケーキ、フェスタ限定のものも多数!

おまけ

楽しかったよ!
レポート

44th

生活クラブ 生協フェスタ

1面からの続き



生産者ブース



こんにゃくの試食を準備中



豆伍心の試飲にも行列が



生活クラブならではの安心安全な消費材、収穫したばかりの新鮮野菜、試食・試飲コーナーなどが並んだ生産者ブースは、今年も大盛況でした。組合員と生産者がおしゃべりする様子もあちこちで見られましたよ。

ミニトマト
食べてね!

生産者も家族で参加!



和牛のおいしい匂いに誘われた人が続出



たくさんの野菜、果物が並びました

組合員ブース



ほかほか肉まん、おいしいよー



私たちのイチ推し消費材!



ぱっと華やか! バルーンアート

ブロックや専門委員会の組合員が、趣向を凝らして出展したブース。普段は会えない組合員と話し込んだり、懐かしい顔に再会して喜びあったり、組合員が交流する場にもなりました。



今年もジャンベが
オープニングを
飾りました!

伊賀有機農産供給センターの皆さん

ごみゼロ大作戦!!



マイ食器やエコバッグの用意、リユース食器の利用、ゴミの持ち帰りなど、ごみゼロ大作戦へのご理解・ご協力をありがとうございました。



来場記念にパチリ

…広報委員がピックアップした紙面…

※記事内の問い合わせは、茨木本部組織運営課 072-641-5561まで

◆クラブ通信のバックナンバーは、生活クラブ生協大阪のHPから見られます。→



生活クラブでは、GM作物・食品を取り扱わないことを基本に、NON-GMトウモロコシや大豆を確保するため分別管理・輸入しています。しかし、分別管理しても5%以下のGMの混入は避けられず、2023年4月施行の消費者庁の新たな制度では、「NON-GM」の表示ができなくなり、カタログでは「GM管理済」に変更されました。

最近消費者メリットを謳ったゲノム編集食品の開発が目白押しで、2019年より解禁され、表示されることなく市場に出回っている可能性もあります。昨年、ゲノム編集トマトの開発企業が小学校にトマト苗を無償配布する計画が発覚し、各地の生活クラブと共に教育委員会などに苗を受けとらないよう要請する運動に取り組みました

これからも消費材を利用することで、NON-GM作物や食品の生産を後押しし、わかりやすい表示を求めていきましょう。

- ◆2019年137号〜知っていますか？ゲノム編集学習会
- ◆2019年139号〜ゲノム編集食品って何？知らないうちに食卓に
- ◆2022年165号〜GM食品の任意表示ルールが変わります
- ◆2022年169号〜食の安全と豊かな海と山を守りたい GMOフリーゾーン交流会広島
- ◆2023年176号〜知っておきたいゲノム編集の話〜「遺伝子組み換えでない」表示が変わります
- ◆2023年181号〜遺伝子組み換えもゲノム編集もない世界を作ろう GMOフリーゾーン交流会東京
- ◆2024年191号〜遺伝子組み換え その問題点とは？〜遺伝子組み換え問題 生活クラブ生協大阪の取り組み (小出瑛子)

2024	2023	2022	2020	2016	2015	2014	2013	2011	2008
		21年度産直春のつどいの代替企画として、産直オンライン生産者交流会を連続開催	生活クラブ生協フェスタ代替企画としてオンライン生産者交流会を連続開催	関西6生協が予約・登録のシステム「よやく・る」の取り組みを開始	香里プロックに居場所「よみち」開所	生活クラブ生協大阪が受入れ団体となり、シャボン玉フォーラムを開催	生活クラブ生協フェスタとして鶴見緑地公園で開催	生活クラブ生協大阪が受入れ団体となり、シャボン玉フォーラムを開催	生活クラブ生協大阪が受入れ団体となり、シャボン玉フォーラムを開催
		生活クラブ生協フェスタ、産直春のつどい開催(再開)	生活クラブ生協フェスタ、産直春のつどい開催(再開)	生活クラブ生協フェスタ、産直春のつどい開催(再開)	生活クラブ生協フェスタ、産直春のつどい開催(再開)	生活クラブ生協フェスタ、産直春のつどい開催(再開)	生活クラブ生協フェスタ、産直春のつどい開催(再開)	生活クラブ生協フェスタ、産直春のつどい開催(再開)	生活クラブ生協大阪

「よみち」は、2020年11月28日に生活クラブ生協大阪の初の居場所として枚方市の香里団地内にオープンし、昨年4周年を迎えました。



生活クラブ生協大阪が福祉政策に掲げる「地域に暮らす様々な人たちが気軽に立ち寄り交流し自己実現できる居場所づくり」の理念のもとに活動を開始。コロナ禍という試練に見舞われましたが、スタッフ・ボランティアとともに努力を重ね、今では0〜90歳代までの幅広い年齢の人々が交流する場所となりました。

(榎原慶子)



一貫して脱原発を訴えてきた生活クラブは、2016年4月、電力小売り自由化を契機に、自前の電気をつくり、利用する取り組みを始めた。他の消費材と同様に、誰がどのように作った電気か分かる、再生可能エネルギーによる電源開発を進め、現在発電所は71か所、供給する電気の9割以上が再エネとなっている。

電気料金も関電より低く設定しており、停電時などトラブル時の復旧は関西電力送配電線が担当。しかも年度で剰余があれば「利益還元割り戻し」がある(実績あり)。切り替え手続きも簡単で、工事要らずのこの素直な「でんき」。組合員なら利用しない手はない。ぜひ問い合わせを！※

- ◆2016年94号〜10月からの「電気共同購入」開始を知らせ、予約申込書の提出を呼びかけ
- ◆2016年95号〜「電気も消費材」「エネルギーを考える」シリーズを掲載(〜2017年114号)
- ◆2017年115号〜電気まつわりの話・学習会報告など毎月連載
- ◆2019年133号〜自然エネルギー委員会が「でんきを変える、でんきで変わる」コーナー担当 (小松原千恵)



私たちは「欲しいものを欲しい時に買う」のではなく、予め約束した量を食べきるという青果のシーズン予約や産直米・やさしいBOXなどの年間登録、牛乳・豆腐などの定期予約に由来から取り組んできました。組合員の「食べる約束」と生産者の「つくる約束」によって、生産者は計画的につくる、今後も生産を継続していける、私たちは手に入れ続けられることにつながります。

その予約登録の仕組みを2022年4月よりよやく・るに統一しました。食品の他にロールペーパーやせっけん等日用品も予約できるようになり、持続可能な生産と消費が広がっています。一方近年気候危機により収量の減少、原料不足など生産現場に多大な影響が出ており、気候危機に対する行動と共に、よやく・るの重要性が増しています。

- ◆2022年167号〜よやく・る開始を知らせ、よやく・るでの利用を呼びかけました。
- ◆2022年168号〜よやく・る消費材の紹介記事を随時掲載し、消費材の特長、市販品との違い、消費材を利用することでつながらる未来などについて伝えています。(田上綾子)



1979年、千里山生協で第1回生協まつりが開かれたのが前身と聞いています。今の生協フェスタとして鶴見緑地公園で開催されるようになったのが2013年。参加生産者も増え、屋内と屋外で規模も大きくなりましたが、実行委員会を立ち上げ、組合員が主体となり開催しているのは現在も変わりません。あれやこれやと知恵を出し合ってフェスタを盛り上げようと、私も微力ながら毎年関わって参加しています。

クラブ通信では、実行委員会立ち上げの頃からカウントダウン告知をしたり、フェスタニュースとともに、ごみゼロ運動やマイ食器持参を推進したり、フェスタに向けて、その年の内容を随時お知らせしています。当日は参加生産者の出展の様子や、参加した人たちの楽しむ姿を撮影して、終了後の報告紙面に反映しています。(今号p.1〜3をご覧ください)

時代と共に形は変わっても、生産者と直接会えたり、普段は買えないものが並んでいたり、お祭り気分、ワクワク感はずっと変わらずに残っていて、今後につなげていきたいと思えます。(泉あけみ)



「かつてはどこの家庭でも手作りされていた、みそ作りの技術を伝承する」目的で始まったのが、地域で開催される「みそ作り」。生活クラブの前身である西部生協、東部生協時代からの恒例行事で、コロナ禍にはオンライン講習会にも取り組み、かれこれ30年以上継続しています。ベテラン組合員が「カビを生やさなため工夫」を初めての組合員に伝えたり、子どもと一緒に参加したり、試食会で情報交換したりと、交流の場としての風景は昔から健在だったようです。添加物や遺伝子組み換えについ

て学ぶ機会にもなり、「食育」として地域の学校で採用された例もあります。ここ数年で、大豆を漬すための電動のミンサーも導入され、スピーディーにみそを仕込むことができるようになりました。「みそ作り」の輪は形を変えながら広がっています。

(石田明子)



家族でみそ作り



年に一度、組合員と生産者が一堂に、会って話すことを目的として集まる、それが「産直春のつどい」。昨年度までに20回開催されている。前身の各生協の時代から数えるともっと長い歴史だ。当初の形から変遷し現在は、生産者紹介では画像を使って産地の様子を見たり、組合員の活動の報告をしたり、コーヒーやスイーツでの懇親会など。

生産者から直接聞く話はとても貴重だ。私が30年前組合員になり初めて参加した時、自分が食べている豆腐や玉ねぎ・みかん

などを作っている生産者と会うだけでなく、気さくに話ができる！なんと！と驚いた記憶が今でも鮮明だ。これからお互いかわらぬ関係で会えることを大事にしていこう。

(植田三佑恵)



大阪市立中央公会堂に会す



わたしたちの豆腐、「やっぱり豆伍心」

豆伍心の思い

～組合員に美味しい豆腐を食べてほしい～



* 今月は「豆腐を使ったお菓子」をご紹介します — 温かいミルクと一緒にいかが？

●豆腐ドーナツ

【材料】

- ・絹ごし豆腐 1/2 丁 ・卵 1 個
- ・ホットケーキミックス 1 袋 (200g)
- ・揚げ油 (適宜)

【作り方】

- ①ボウルに絹ごし豆腐を入れて、泡立て器でよく混ぜなめらかにする。
- ②卵を割り入れ、よく混ぜる。
- ③ホットケーキミックスを入れて、粉っぽさがなくなるまでよく混ぜる。
- ④油を鍋底から 5 センチくらいの高さまで注ぎ、熱する。③を 2 本のスプーンですくい形を整えて、鍋に入れる。
- ⑤菜箸で転がしながら、全体が色づくまで 5 分ほど揚げる。



再エネ省エネフェアで実際に作りました！

●豆腐シフォンケーキ

【材料】 直径 17 cm のシフォン型 1 つ分

- ・絹ごし豆腐 1/2 丁(190g) ・卵黄 3 個分
- ・素精糖 A 30g ・なたね油 40g ・薄力粉 80g
- ・メレンゲ(卵白 4 個分、塩ひとつまみ、素精糖 B 30g)

【作り方】

- ①豆腐を滑らかにし、卵黄、素精糖 A、なたね油を加え混ぜる。
- ②薄力粉をふるって加えよく混ぜる。
- ③卵白に塩をひとつまみ加え、ハンドミキサーで白っぽくなるまで泡立てる。素精糖 B を 3 回に分けて加えメレンゲを作る。
- ④②に③のメレンゲを 3 回に分けて加える。(1 回目は泡立て器でしっかり、残り 2 回はヘラでさっくり混ぜ合わせる)
- ⑤型に流し入れ、170℃に予熱したオーブンで、30～40 分焼く。



今年のクイズは
答えを黄色いチラシに
書いて提出するのじゃ！
間違えるでないぞ～



Q 1

「わたしたちの豆腐」

として、クラブ通信でも毎月
記事を掲載し、豆腐の利用を呼び
かけてきました。さて、私たちの
豆腐を作っているのは？

- ① 豆五郎 ② まめ福 ③ 豆伍心

ヒント このページを
よく読んでね。

Q 2

脱原発とエネルギーの
自給をめざし、生活クラブ

でんきの利用に取り組んでいます。
2023 年 3 月現在、電源となる再生
可能エネルギーの発電所の数は？

- ① 71 か所 ② 17 か所 ③ 1 か所

ヒント クラブ通信今号の
p. 5 をみてね。

Q 3

11/17 開催の生協
フェスタで、子育て支援
の各部会が運営する〇〇〇
ランドは今年も子どもたちに
人気！ 〇〇〇に入るのは？

- ①キッズ ②ドッグ ③ダッコ

ヒント クラブ通信今号
の p. 3 をみてね。

2025 お年玉プレゼントクイズ 出題編

今年、同時配布の別紙チラシ(黄色)に解答を記入してご応募ください。
賞品など詳しいこともチラシを見てね。Google フォームでの応募も可能！
正解者の中から抽選で 38 人に、広報委員が思いを込めて選んだ素敵な賞品(消費材!)が当たります。



みんなあつまれ！産直春のつどい

2024 年度

2025 年 3 月 3 日(月) 10 時～15 時 30 分

於 大阪市中央公会堂 中集会室

- ・ 一部(午前)…生産者からのアピールとトークタイム
- ・ 二部(午後)…組合員から「生産者との交流」の発表、クイズ大会

※詳しくは、今後配布される参加者募集のニュースで確認してください。



一部二部通して
でも
どちらか一方
でも
参加可能です。



《識ろう ふれよう 語りあおう》 ～今年もあえるね おおぜいの生産者♪～

今年のテーマは、実行委員の「生産者と私たち組合員が
テーブルを囲んで、お互いの日々の暮らしや仕事について
話し合い、共に想いを寄せあいたい」そうした気持ちを表
しました。

加入後間もない組合員は、「生産者ってどんな人？」興味
しんしんで参加してください。何度か参加した組合員は

「気候危機の影響は？」「私たちの食卓は安泰？」
「10 年先の日本の農業は大丈夫かな？」など、生産
者と話し合ってみませんか！ 子育て世代や若い
生産者も増えています。参加予定のやさしい BOX の
生産者・食肉の生産者・加工品の生産者、カタログ
に載っている生産者の皆さんと直接話せる貴重な
機会です。

実行委員一同、参加お待ちしております！
(産直春のつどい実行委員会 委員長 清水啓子)

私のおすすめ 3 品

保木本久美子さん
60 歳代 生協歴 40 年

しゅうまいの皮



みじん切りにした玉ねぎと豚ミンチをこねて、皮に包
んで蒸すだけで超簡単。具も皮もピッタリで残らず包め
た時はなんか気持ちいい。からし醤油で食べます。この
しゅうまいの皮は伸びがいいので上手に包めますよ。

生乳100%ヨーグルト



牛乳が苦手な私は、代わりにヨーグルトを摂るよう
にしています。生乳ヨーグルトは砂糖も入っていないのに
甘くて不思議。そのままでもおいしいけど、バナナや色
んなジャム、はちみつ、きな粉などをトッピングして食
べます。2 個よやく・るしているので、いつでも冷蔵庫の
定位置にいます。

レンジでコロッケ(豚肉入り)



冷凍食品の中でも豚肉コロッケはボリュームがあっ
てお値段も安いのでお気に入り。大き目のコロッケが 4 個
入っています。お弁当はもちろん、あとちょっと一品欲
しいなあと思ったときに活躍してくれ
ます。おまけに油で揚げなくてもレン
ジ調理できるので、忙しい私たちの味
方です。



★しゅうまい★

【材料】

- ・玉ねぎ…1/2 個
- ・片栗粉…大さじ 3
- ・豚ミンチ…300g
- ・塩…小さじ 1/2 強
- ・砂糖…ひとつまみ
- ・ごま油…小さじ 1
- ・コショウ…少々
- ・しゅうまいの皮 1 袋
- ・キャベツ又は白菜(蒸し器に敷く)

お好みで…ねり辛子、酢、しょうゆ

【作り方】

- ①玉ねぎをみじん切りにして片栗粉を塗しておく。
- ②①に豚ミンチ、塩、コショウ、砂糖、ごま油を加えよく混ぜる。
- ③②をしゅうまいの皮でキュッと包む。
- ④よく湯気の立った蒸し器に野菜を敷き、しゅうまいを乗せ 10～15 分蒸して出来上がり。





12月

会員数	11,002人			
給付状況	消費材の破損	0件	健康診断補助	7件
	延長保育	0件	節目祝い	39件
	集団	地区	暮らしの日常的なたすけあい	72件/22人
	託児	全体	暮らしのたすけあいサポート	51時間/13人

エコロ事務局 ☎/FAX 072-641-5811
 月・水・金(10~15時) エッコロ共済 WEBサイト

連携する福祉団体を利用しませんか?

エコロ共済の制度の中に、連携する福祉団体を利用する「暮らしのサポート」があります。
 「ちょっとしんどいけれど、近くに助けてもらえる人がいない」「友だちには頼みにくい」と思われる方は、福祉団体を利用してみませんか? 例えば赤ちゃん・子どものお世話、食事の支度、掃除、買い物など、少し手伝ってもらうと、気持ちが楽になり元気が出る場合があります。小さなことでもエコロ事務局または直接、以下の福祉団体にご相談ください。

香里ブロック	大阪高齢者生活協同組合 0120-47-2345
門真・平野ブロック	ワーカーズコレクティブあひるポート 070-1779-8399
千里・茨木ブロック	NPO法人 ほほえみケア 080-8346-5363
豊能ブロック	高齢者サポートみのおステーション 072-786-9042

※エコロ共済の加入確認は、消費材の請求書をご確認ください。加入者には「エコロ金100円」と記載されています。

産直 春のつどい

今年のテーマ

「識ろう ふれよう 語りあおう」
 ~ 今年もあえるね おおぜいの生産者 ~

2025年3月3日(月) 10:00~15:30
 大阪市中央公会堂 中集会室

詳細については、今後配布するチラシをご覧ください。

理事会報告

11月25日

大淀コミュニティセンター

- 24年度活動報告案、25年度活動方針案の提案・討議
 - ライフプラン講座「扶養の範囲内で働くこと」活動計画を決定
 - 千里ブロック居場所づくりプロジェクト進捗状況の報告を確認
 - 秋の紹介キャンペーン最終報告を確認
- 加入目標701件に対し、実績428件(達成率61.1%)



200号よせて 大つぶやき

156号より編集に参加している。生協フェスタでは「クラブ通信いつも読んでよ!」との声がとても励みになった。原稿書くのに毎回モタモタしてしまうので作文の勉強が要るな、取材相手に素敵な写真が撮れるようになりたいな、公式 Instagram ではフェスタ以外の場面も発信していきたいな、などと考えている。(A)

元々仕事でイラストレーターを使っていたことが、クラブ通信を編集するという広報委員になるきっかけで、早10年ほど経つでしょうか。毎月の編集会議で担当ページを決め、その1ページあるいは2ページをどうレイアウトして読みやすい紙面にするかが腕の見せ所! (笑) 機関紙とはいえ、あまり堅い紙面になりすぎないようにイラストであたたかみを出したり、写真を添えて実際の様子を伝えたり...そのアイテムをあれこれ考えるのもまた楽しい。(I)

広報委員会の中で、一番ひよこの私の紙面を作るに当たり、多くのことを学ばせてもらっている。中でも面白いのは、ベテランの皆さんから聞く昔話だ。組合員の創意工夫があって、現在の生活クラブがあるのだなあと感謝の気持ちでいっぱいになる。これから300号にかけてどんな変化が起きるのか、どんな変化を起こせるのか、とても楽しみです。(AI)

千里山生協(当時)に加入して26年。委員・理事として、主にF(フード)の分野で活動。広報委員会に移ってからは、E(エコライフ)、C(ケア)分野にも注目してきた。理事退任後、地区委員として企画で直接組合員に生活クラブ運動を伝える立場に。そして年を重ねた今、居場所づくりにも関わっている。今後の私の人生展開はいいか? (C)

紙面づくりでは、特に原稿の内容に合わせて押し絵の検索が楽しみ。ウェブから無料のものを探すが、内容と「ピッタリ!」が探せると全て整う。自己満足なのだが、毎月の委員会で好評だとうれしい。編集・校正作業は真剣。毎回、雑談への脱線はつきものだが、新旧の組合員で構成する集まりなので「昔話」はコミュニケーションの大事なツール。(U)

昔から紙面を作ることが好き。ある日、理事から「今度、組合員自らが広報誌を作る」と聞き、家に娘のイラストレーターがあることを思い出し、参加しました。2005年のことでした。今だにイラストレーターの多様な機能の何割も使いこなせていませんが、仲間にも恵まれ続けることができ、幸せを感じています。(S)

創刊号からクラブ通信の編集・制作に携わり17年が経ちました。生協の歴史は生活に必要なものを組合員自らの手で作り出してきた歴史です。活動の担い手は変わりましたが期々と引き継がれている組合員活動の歴史がクラブ通信から読み取れます。世代を超え、生協を愛する素敵な仲間に出会えたことに感謝です。(K)